

# みつくら

令和 8年 5月15日 第458号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 大瀬川の「桜の開花」

大瀬川で桜の開花が一番早かったのは4月7日で柳原美智子さん宅の桜であった。以下は4月8日は菅原純一さん宅の桜、4月9日は菅原洋二さん宅入口の桜、大瀬川運動公園の8区花壇脇の桜、板垣光彦さん宅東側の桜、4月10日は板垣武美さん宅の桜、板垣美智子さん宅の桜、菅原文子さん（茶畑家）宅居久根の桜、振興センター駐車場と運動公園標準木の桜、7区公民館の桜、旧上野々竈家東側の桜、板垣孝信さん宅入口の桜、旧森子坂（千田拓人さん宅北側の市道）の桜、4月12日は畠山勝敏さん宅の桜、菅原奉文さん宅畑の桜、大瀬川公葬地の桜、薬師堂川の桜並木、旧神平家の桜、菅原教雄さん宅の桜、菅原清孝さん宅の桜、菅原弘雄さん宅北側の桜、一の留め桜並木、4月13日は菅原道義さん宅の桜、高井沢堤の桜。

最も遅かったのは4月15日の千鳥苑の桜であった。最も早かった柳原さん宅の桜の開花した枝は、丁度屋根の上にあったので輻射熱の影響と思われる、反対に最後の開花だ最も遅かった千鳥苑の桜は、南側の山の影で日当たりが悪かったのが要因と考えられる。

## 第130回大瀬川戦没者慰霊祭が斎行される

4月3日午後2時から第130回大瀬川戦没者慰霊祭（藤原利博実行委員長）が菊池熊野神社宮司により、大瀬川公葬地内に建立された戦没者慰霊碑前にて厳かに斎行された。「いつの時代も戦争を始めるのは老人で、死ぬのは青年である」。戦争の理不尽さを訴える有名な言葉であるが、祭壇に並べられた48人の将来ある若者の遺影の前に、この言葉が降りてきた。

慰霊祭には21人が参加し、来賓を代表し花巻市長代理（畠山夕子石鳥谷支所長）が戦死者への追悼と世界平和を祈念する言葉を述べられ終了した。その後、会場を大瀬川振興センターに移し、第三代実行委員長の菅原得之氏を講師に「戦時下の大瀬川」と題して記念講演が行われた。神武天皇祭から大瀬川戦没者慰霊祭へととなった経緯、旧石鳥

谷町で戦没者慰霊祭が継続しているのは大瀬川だけであること、慰霊祭を継続することの難しさなどについて講演された。直会で藤原委員長が「世界で紛争が絶えないからこそ、戦没者慰霊祭を絶やしてはいけない」と述べたが、至言である。アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃はやむ気配がないが、この号を皆さんが目にするときには停戦が実現していることを願ってやまない。

## 交通安全協会大瀬川分会が総会

4月18日に交通安全協会大瀬川分会（板垣吉彦会長）は、大瀬川振興センターで令和7年度の通常総会を開催した。開会の後は、板垣真裕美さんのリードで「岩手県交通安全憲章」を参加者全員で唱和した。来賓祝辞では、石鳥谷交番の大瀬川担当の菅原一弘氏から「4月16日現在で県内の交通事故発生件数が全国ワースト3位、そして、死亡事故は全国ワースト1位です。花巻警察署管内でも3件の死亡事故が発生しているので、警察でも交通取締り等を行ってこれ以上の増加しないよう努めています。皆さんも注意して特に高齢者の方々は安全運転をお願いしたい」と話された。

その後、定足数の報告があり議長に熊谷賢良さんを選出し、議案第2号までを満場一致の挙手で承認された。議案第3号は役員改選で、新会長に熊谷静治さんが選任され、理事も13名の中で5名が改選され、全ての議案が上程通り進み終了となった。

## 大瀬川中央長寿会が8年度の総会を開催

4月22日に大瀬川中央長寿会（板垣正博会長）は、大瀬川振興センターで15名が出席して総会を行った。開会の後に、板垣会長が「私が会長になって初めての総会ですが今日はあまりにも天気が良いので少し出席者が少ない様ですが慎重な審議をお願い致します」と挨拶された。議長に板垣武美さんを選出して議事に進んだ。

令和7年度はスポーツ行事に参加者が増え、特に石鳥谷支部のポッチャ・リーグ戦では6位になったことが目立った。令和7年度の事業報告と決算報告そして、令和8年度の事業計画と予算案が承認された。また、年会費は2千円とする議案も承認された。監事が1名欠員になっているので監査に板垣武美さんを選出して総会は閉会となった。終了後は懇親会を行って色々な話題で情報交換の場となった。

## 各団体が「山火事防止活動」

大瀬川・片寄地区山火事予防協議会主催の「山火事防止強化月間」活動は、4月23日から5月6日まで行われた。この活動は、山道入り口2ヶ所（市道大瀬川線と市道高井沢線交差付近と菅原孝さん宅北側の山道入り口）で入山者にチラシを配りながら山火事防止の呼びかけをした。大瀬川から参加した団体は大瀬川分収森林組合、大瀬川活性化会議、花巻市消防団第13分団第一部と第二部の3団体。期間中に各団体は2回ずつ山

火事防止の呼びかけをした。この大瀬川・片寄地区山火事予防協議会は、平成9年の大瀬川山林大火を受けて平成20年に組織した防火予防団体で、構成団体は花巻市や消防署など22団体が所属している。折しも4月22日に大槌町で山林火災が発生し5月2日に鎮圧となったが、昨年2月の大船渡山林火災の記憶がまだ新しいうちに起こった災禍、火の取り扱いには十分注意しなければならない。

## 板垣さんが写真展に出展

4月24日から3日間にわたって江釣子ショッピングセンターパルで開かれた「森のアトリエ」写真展に板垣弘清さんの写真5点が出展された。内4点は大瀬川の夜景を撮影したもので、星が流れる軌跡を撮ったもの。「はるかな友へ」と題した写真は板垣雄一さんの水田（馬墓地）からの夜空。また「古木に冴え」は板垣孝信さん宅の夜空、「雲間に煌めく」の写真は葛丸湖の夕暮れの雲、「夢見るころ」の写真は小屋場の火の見やぐらに夜空を写したものであった。

開幕直後の鑑賞であったが、会場内には15名ほどが訪れていて、板垣さんは他の方々の写真も参会者の皆さんに詳しく説明していた。

## あじさいの会が事業報告会

4月28日に、あじさいの会（板垣福子会長、会員29名）主催の「元気でまっせ体操」が行われた。その際に板垣会長から、令和7年度の事業報告があった。「元気でまっせ体操」は、毎週火曜日行われ、祝日、お盆期間、年末年始の振興センターが休館の時などを除けば48回実施されている。ほかにふれあいサロンが「高齢者交通安全教室」で交通指導員による寸劇、冨澤惣一さんのマジックショー、映画鑑賞「90歳なにがめでたい」の3回であった。

また、花巻市長寿福祉課による「いきいき講座」は2回開かれ「歌謡曲に合わせた有酸素運動」と「簡単な体力測定と元気でまっせ体操」であった。報告会のあとに茶飲み話に花が咲き「この体操があるからここに遊びに来れるから有難い」などの声があった。

## 春祭と火防祭神事を執り行い無火災祈願

4月29日に天満宮及び山祇神社において、春祭と地域の無火災を祈願する火防祭神事が執り行われた。神事には、相談役・責任役員・総代を含めた22名が参列し、大瀬川神楽を奉納するなか、志和古稻荷神社の吉田宮司が祝詞を奏上げて火災防止を祈願した。

祈願では、花巻市消防団第13分団第1・2部の役員も玉串を奉奠し消防車にも「無火災と無事故」の清祓が行われ、地域防災の決意を新たにした。

終了後に、庶務より「宮司の選任について神社庁花巻支部と相談のうえ、例大祭までに決定できれば」との報告があった。

**みつくら**

令和 8年 5月15日 第458号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

**交通安全祈願祭が行われる**  
 交通安全協会大瀬川分会（熊谷静治会長）では、執行部の3名が代表で4月29日に山祇神社で吉田宮司の祝詞のもと地域の交通安全を願って祈願した。

**第一老人クラブが総会**  
 第一老人クラブは（熊谷幸夫会長）は4月25日に第九区自治公民館で令和7年度の定期総会を開催した。今年は総会前に「ふれあい出前講座」を活用し、落語の星鴉（ほしからす）さん・星布団（ほしふとん）さんを読んで3席の落語を聞いた。どの噺も会話している人物がそこにいるようで、あつという間の1時間半が過ぎていた。  
 続く定期総会では、今年度に亡くなった会員3名への黙祷を行った。熊谷会長は挨拶で、「石鳥谷支部のポッチャ・リーグ戦では5位、西部地区スポーツ交流会で女性中心のチームが準優勝など他団体と交流したほか、当会では楽しく脳トレ講座等を開き、多くの会員に参加頂きました」と述べた。  
 総会設立宣言では、本人出席27人・委任状57名で会員84名となり総会が成立し、議長に熊谷俊彦さんを選出して議事に入った。  
 決算報告では、支出額142,840円で繰越金8,954円が承認され、来年度会費は正会員1,300円と準会員500円で予算額140,000円も承認され閉会となった。最後は、座席をテーブル席に直して、若干のアルコールとお弁当を用意した昼食会を開催して解散となった。

**人 事**（敬称略）  
 交通安全協会大瀬川分会  
 会 長 熊谷静治（新）  
 副会長 熊谷記彦（再）・畠山勝敏（再）  
 石鳥谷町自治公民館連絡協議会  
 副会長 板垣正博（新）  
 理 事 菅原邦典（新）

**天満宮で春の清掃活動**  
 4月26日に第一老人クラブ（熊谷幸夫会長）では、29日に天満宮で開催される「春祭・火防祭」に向けた春の奉仕活動として2班と3班の会員17名が境内と外回りの清掃を行った。

**テレビ共同受信施設組合が解散**  
 大瀬川7区の山際にある24戸はテレビの映りが非常に悪かった。そこで映りの良い場所にアンテナを設置するため、平成元年に大瀬川西部地区テレビ受信施設組合を設立して組合長に菅原隆一さん（助作家）を選出し、石鳥谷町に補助金を申請した。同年12月に議会で採択され、工事業者を選定して工事が始まった。平成2年2月に工事が完了して、テレビ映りの悪さが解消された。しかし、平成23年には放送のデジタル化と共に設備更新の必要性や、36年が経過して設備も老朽化し木柱の腐食が進んでいたため、令和6年に共同受信施設の解体・撤去に対して花巻市の補助制度が始まったことから補助金を申請して採択された。今回は、各家がアンテナを自費で立て、共同受信施設解体撤去の自己負担は3万5千円とする内容だった。アンテナ設置工事は令和7年6月ごろから始まり、同年9月に終わった。その後、テレビ受信施設の解体工事は同年12月で完了。それに伴い受信施設組合は解散した。  
 この地区の電波は、紫波町の新山送信所や遠野市の物見山送信所、または葛丸ダムの奥の山からの反射などアンテナは家によって様々な方向を向いているが、綺麗な画像が届いている。

**大瀬川体育協会が代議員会を開催**  
 大瀬川体育協会（板垣雄一会長）は、4月25日に令和7年度代議員会（総会）を大瀬川振興センターで開催した。板垣会長の挨拶では、「花巻市や石鳥谷町の5地区では、スポーツ協会に名称変更したが、当大瀬川では今年度を準備期間として来年度からスポーツ協会と名称変更を働きかけたい」と述べた。  
 続いて、代議員22名中本人出席11名、委任状5名の報告があり成立確認され、議長に板垣孝信さんを選出し3議案が提出され議事に入った。令和7年度の事業報告では、第52回石鳥谷9人制バレーボール大会男子の部で優勝の報告があった他に石鳥谷野球大会・長靴アイスホッケー大会・石鳥谷地区卓球大会への不参加の報告もあった。中でも卓球大会においては、過去には大瀬川地区で盛んな時期もあったので今後は盛り上げて頂きたいとの意見が出た。  
 次に、令和8年度の会費徴収と事業計画・収支予算案が上程され、今年の地区民運動会は6月14日（日）を予定とし、雨天の場合は改善センターで軽スポーツを行い、順延は行わない方向とのことであった。  
 また、今年は80回大会となるので記念（思い出）となるような種目の意見を出してほしいとの要請もあり、進行についても次回5月17日の代議員会で協議することとなった。いずれの3議案は可決・承認され閉会となった。

**訃 報**  
 ○太郎竈の菅原幸福さんが、3月25日に69歳で亡くなりました。昨年に亡くなった母・かよ子さんの後を追うように逝去しました。菅原さんは長年にわたり、石鳥谷町および大瀬川地区のスポーツ振興や地域活動に尽力しました。  
 平成9～14年の石鳥谷町スポーツ推進員をはじめ、平成10年に大瀬川子供育成会会長、平成13～14年に石鳥谷町体育協会理事、平成17～20年に大瀬川体育協会副会長を平成21～22年には同協会会長などと多くの役職を歴任し、令和2年には、非常勤職員として花巻市長感謝状を受けました。また、町内自治公民館ソフトボール大会では監督を務め、チームの取りまとめや大会運営に尽力し、平成25年度の第19回大会と令和5年度の第29回大会で大瀬川チームを優勝に導きました。  
 他にも葛丸の農村環境を守る会幹事、花巻農協総代、葛丸川淡水魚愛護組合副組合長、第7区農家組合理事、山祇神社総代、花巻地区交通安全協会石鳥谷支部大瀬川分会代議員、みつくら編集委員など、地域の幅広い分野で活動しておりました。いつも、温かな笑顔で選手を励ます姿が印象的でした。体調を崩す前は、照井塗装や鈴木工建に勤務し、地域産業にも貢献され地域の多くの人々に親しまれた菅原さんに謹んでご冥福を申し上げます。  
 ○清四郎家の菅原ミヤ子さんが、3月27日に96歳で亡くなりました。長年にわたり地域活動に尽力され、その温かな人柄と行動力で多くの方々に親しまれてきました。  
 菅原さんは、昭和51年に大瀬川婦人協議会農協婦人部7区区長を務められ、地域の女性たちの活動を支えました。さらに昭和57年から58年にかけては石鳥谷町保険補導員として住民の健康づくりに貢献。昭和60年には石鳥谷町婦人消防協力隊第二分団第2部部長を務め、防災活動にも力を注がれました。  
 スポーツをこよなく愛し、することも見ることも楽しみにされていた菅原さんは、地域でゲートボールが盛んだった頃には積極的に参加し、仲間たちとの交流を大切にされていました。地域のために尽くし、人とのつながりを大切にされた菅原さんの姿は、多くの人の記憶に温かく残り続けることでしょう。菅原さん謹んでご冥福を申し上げます。

**ドローンで種蒔き**  
 くまプロ農産（熊谷和紀代表）では、省力化と作業性向上を図るため、試験的に農薬散布用ドローンで鉄コーティングした種粒を代掻きし、水の入った水田にばら蒔き散布を行っている。今回は、10アール当り種粒3キロに設定し、同時に除草剤も散布する予定。詳しくは、来月号に記載予定

**訂 正**  
 4月15日みつくら456号の石鳥谷小学校 保健委員長 畠山ひなたさん（六盃家）は、熊谷ひなたさん（牛蒡家）の誤りでした。

